

まずはアンプラグド・プログラミングで実践！
家庭科学習「食べて元気に」調理実習計画授業
鹿屋市立下名小学校 安崎さおり



目的：プログラミングの授業を家庭科で実践し、子ども達の活動の様子を観察する。

事前：来年度開始に向け不安がつの中、養成塾参加の好機をつかむ

不安… 情報が不足

- ・自分にスキルがない！指導できるの？
- ・教育課程に載せないといけないのに…



好機！プログラミング学習のことを理解

- ・パソコンがなくてもできる！
- ・子どもたちの思考力、表現力向上！



準備：初めてなので、お膳立ては絶対必要

準備①

明確な目標イメージ

- ・何を作る？何を学ぶ？
- ・どうやって？条件は？

準備②

段階的な活動の工夫

- ・いきなりさせられない

準備③

フローチャート図の準備

- ・台紙準備
- ・白紙カード準備

実践：みそ汁作りの工程をプログラミングさせる

実践①

おいしいみそ汁を作る！



子どもたちやる気向上！

実践②

まず並べるだけ！簡単！



やり方を理解！

実践③

すぐに活動開始！



班の話し合いが活発に！

結果：準備は大変だが、子どもたちが主体的に考え、言葉を発する授業へ展開



- ・意識が目標に向かった
- ・主体的な話し合い、活動が見られた
- ・イメージを言語化しようとした
- ・他の先生方に知ってもらえた



- ・子どもが慣れるまで準備の工夫（アンプラグドに関して）
- ・ビジュアルやフィジカルへの発展
- ・他の学年、教科への入れ込み

まとめ：効果的に導入することで、子どもたちの思考力と表現力向上へ期待大！



プログラミング導入の波、一緒に乗り切りましょう！